

2014 年度 障害者雇用分科会における年度目標の中間評価について（案）

2014 年度の目標として障害者雇用分科会において設定した年度目標について、当該分科会が実施した中間的な自己評価の結果は、概ね以下のとおりである。

※ 中間評価は 2014 年 12 月時点で把握できる直近の各種指標（概ね 2014 年 4 月～10 月頃の数値）に基づいて行った。

（障害者雇用分科会において設定された年度目標の動向）

○ ハローワークにおける障害者の就職件数について

〔2014 年度目標〕 前年度（77,883 件）以上

〔4 月～10 月実績〕 52,004 件（前年同期実績 46,970 件）

障害者の就職件数は、企業における障害者雇用への理解が進んでいること、就職を希望している障害者が増加していること、各種雇用支援策の充実を図っていることにより前年同期を上回る実績となっており、2014 年度の目標水準を上回ることが期待できる。

引き続き、ハローワークが中心となり福祉、教育、医療等の関係機関と連携し、求職者の障害特性に応じたきめ細かな職業相談・職業紹介を実施していく。

○ 障害者の雇用率達成企業割合について

障害者の雇用率達成企業割合については、2015 年 6.1 報告の結果が出た時点で改めて評価を行う。

2013 年度の目標においては、少なくとも例年の伸びと同程度以上の伸びは堅持することとし、前年度実績と比較して 1.5%pt 以上の上昇と設定し、中小企業に重点を置いた雇用率達成指導や就職面接会等の取組を実施した。このことにより、2014 年 6.1 報告で雇用率達成企業の割合は 44.7%（前年から 2.0%pt 増）であり、2013 年度目標（1.5%pt 以上の増）を達成したことに加え、雇用障害者数は 11 年連続で過去最高を更新するなど、民間企業における障害者雇用は着実に進展している。

今後も、企業からの求人の充足を的確に行うとともに、事業所に対する厳正な雇用率達成指導を実施していく。

○ 精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者のうち、就職に向けた次の段階へ移行した者の割合について

〔2014 年度目標〕 前年度（69.3%）以上

〔4 月～9 月実績〕 67.3%（前年同期実績 69.5%）

平成 26 年度上半期の就職に向けた次の段階へ移行した者の割合は、より就

職に困難な課題を抱える対象者の増加に十分対応出来ず、67.3%と前年同期の実績を下回った。このため、労働局に対して目標及びその進捗を意識した業務実施を改めて指示するとともに、精神障害者雇用トータルサポーター間の支援ノウハウの共有を図る経験交流会の開催などの質の向上を図る取組を行った結果、第3四半期までの実績は68.5%と改善がみられた。

引き続き、目標達成に向けて、精神障害者雇用トータルサポーターの質の向上を図りつつ、精神障害者の求職者に対するカウンセリングや就労準備プログラム、事業主への意識啓発等の総合的な支援を実施していく。